

平成26年度 第3回調査・研究企画会議 議事概要

1 日時：平成26年8月6日（水） 10：00～12：00

2 場所：食品安全委員会委員会室

3 出席者（7名）五十音順

尾崎 博（国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進部部長）

川村 孝（国立大学法人京都大学環境安全保健機構健康科学センター長）

熊谷 進（食品安全委員会 委員長）

◎佐藤 洋（食品安全委員会 委員長代理）

山添 康（食品安全委員会 委員長代理）

三森 国敏（食品安全委員会 委員長代理）

（◎：座長）

その他、事務局から姫田事務局長ほか10名が出席

4 議題

（1）平成26年度追加公募研究課題の事前評価（ヒアリング審査）

（2）その他

5 議事概要

（1）平成26年度追加公募研究課題の事前評価（ヒアリング審査）

○ 平成26年7月11日から24日まで追加公募を行った研究課題については計3件の応募があり、調査・研究企画会議構成員が書面審査を実施した上でヒアリング審査対象課題として選定した1課題（受付番号：33）の主任研究者に対してヒアリング審査を行った。

○ 審査結果について審議した結果、当該課題を追加採択することが了承され、取りまとめた評価所見を次回の食品安全委員会に報告することとなった。

（2）その他

○ 事務局から、平成26年7月9日の第2回調査・研究企画会議においてヒアリング審査を実施した平成25年度終了研究課題（8課題）の事後評価結果（案）を提示し審議を行い、文言を一部修正した上で、次回の食品安全委員会に報告することとなった。

○ 事務局から、食品の安全性の確保の観点から緊急性・重要性が高く、研究の成果が求められる課題として、「食品安全確保総合調査及び食品健康影響評価技術

研究の優先実施課題(平成26年度)」(平成25年9月9日食品安全委員会決定)の「Ⅳ 自ら評価や新たなハザードへの対応、緊急時対応等に必要分野」に関連する1課題について、8月中に3次公募を開始したい意向である旨説明し、了承された。

- 事務局から、平成26年6月27日の第1回調査・研究企画会議での審議を踏まえて作成した「食品の安全性の確保のための調査・研究の推進の方向性について(ロードマップ)」の改定骨子案を提示し、ハザードに注目した現行の4分類を3つのアプローチという考え方の下に再構築し、概念的にも重複がないようにする必要があること、リスク評価機関である食品安全委員会が行う研究をリスク管理機関が行う研究とどのように差別化しているかを明確にする必要があること等を説明し、次回の調査・研究企画会議でも引き続き審議していくこととなった。

—以上—

(注：本会議は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)